

計画の名称	安全・安心、快適な地域をつくる人のまち										交付対象	富士見市							
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																		
計画の目標	下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。										公共下水道の整備における計画目標								
計画の成果目標（定量的指標）	下水道による汚水整備達成率を81.1%（H27）から87.1%（H31）に増加させる。																		
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値								
下水道による汚水整備達成率 汚水整備済面積 汚水整備済面積（975.2ha）／事業計画面積（1202.9ha）										当初現況値 （H27当初）	中間目標値 （H29末）	最終目標値 （H31末）	備考 黒字・・・計画 赤字・・・実績						
										81% 81%	85% 85%	87% 87%							
										計画目標値に対して設定した最終目標値									
全体事業費	合計 （A+B+C）	2,170百万円 1,941百万円		A	2,170百万円 1,941百万円		B	0百万円		C	0百万円		D	0百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%		
事後評価（中間評価）																			
事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期										事後評価（中間評価）の実施時期									
事後評価（中間評価）の実施体制										令和3年12月から令和4年1月									
富士見市下水道事業審議会										公表の方法									
										富士見市ホームページによる									
1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A. 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
A1	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	柳瀬第9処理分区の汚水管整備		管渠A=11.5ha 管渠A=14.7ha 管渠A=15.2ha	富士見市						160 216 234		
A2	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	柳瀬第10-1処理分区の汚水管整備		管渠A=6.2ha 管渠A=2.4ha 管渠A=2.5ha	富士見市						80 36 38		
A3	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	新河岸第12-2-2処理分区の汚水管整備		管渠A=8.8ha 管渠A=8.2ha 管渠A=8.2ha	富士見市						300 230 230		
A4	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	新河岸第13処理分区の汚水管整備		管渠A=1.8ha 管渠A=1.7ha 管渠A=1.7ha	富士見市						30 27 27		
A5	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	新河岸第14処理分区の汚水管整備		管渠A=22.4ha 管渠A=20.6ha 管渠A=22.3ha	富士見市						1,000 552 585		
A6	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	新設	新設	新河岸第16処理分区の汚水管整備		管渠A=22.2ha 管渠A=21.5ha 管渠A=21.5ha	富士見市						600 768 768		
												合計					2,170 1,829 1,941		
B. 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
												合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	
C. 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
												合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	
D. 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
												合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	
E. その他関連する事業																			
計画等の名称																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・下水道未普及地域に対する管渠築造事業を実施した結果、交付金事業だけではなく、市単独事業においても整備したため、下水道の汚水整備達成率が81.1%（H27）から87.1%（H31）に増加し、整備達成率が6.0%向上した。			
定量的指標の達成状況	指標	最終目標値	87%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	87%		
	指標	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本総合整備計画に基づく下水道未普及地域の汚水整備は当計画により達成し、人口普及率は平成31年度末時点で、98.4%となり概成した。 ・今後は、次期（令和2年度から令和6年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていくとともに、既設管渠の修繕・改築・更新事業を進めていく。 					

審議事項の論点

基本的に、1ページの計画目標や最終目標等に鑑み

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況について
市が評価した本評価書の記入内容について妥当であるか評価して頂くものです。会の当日には最終実績値の内訳等の説明をさせていただきます。
3. 特記事項（今後の市の方針等）について
次期計画において引き続き公共下水道の整備を行うとともに、既設管渠の修繕・改築・更新事業を行っていく方針について妥当であるか評価して頂くものです。